



一般財団法人

九州オープンイノベーションセンター

(寄稿: KOIC)



九州オープンイノベーションセンターの看板を除幕した瓜生道明会長

設立について

近年、あらゆるものがインターネットに繋がることによって、データを蓄積し、解析して、次の製品・サービスの開発に繋げる手法が広がるなど、従来のモノ中心の社会からモノとサイバー世界が融合して「サイバー・フィジカル」の社会へ進展しています。

そのような中で(※1)シェアリングビジネス、(※2)データエコノミー、(※3)サビタイゼーションなどの新たなビジネスモデルも生み出されています。

このような大きな構造変革を背景に、一般財団法人九州オープンイノベーションセンター(以下KOIC)

は、2020年4月に九州産業技術センターと九州地域活性化センターが組織統合して、発足しました。

(※1)「シェアリングビジネス」とは、インターネットを介して、余剰となっている資産を活用するビジネスのこと。

(※2)「データエコノミー」とは、実社会で、個人それぞれの行動や企業の活動が生み出す膨大なデータを活用する、新たな経済活動。

(※3)「サビタイゼーション」とは、製品を製造・販売するのではなく、製品をサービスとして顧客に提供し、利用料を得るビジネスモデル。

KOICの使命

KOICはオープンイノベーションの手法を活用して、「産業課題」の解決に向けたイノベーション、好循環

を起こし、様々な「社会課題」の解決につなげていくことを使命としています。

九州地域では全国に比して少子高齢化、人口流出などの社会課題が顕在化しています。

このような社会課題を解決するためには、産業側から新製品やビジネスモデル等を提供し産業イノベーションを社会に広く波及させることです。

KOICは、オープンイノベーションの導入や実践を支援するプラットフォームとして、新製品・サービスやビジネスの開発、それらを利用した新事業の創出を目指しています。

組織構成では、技術振興部が、技術開発や相談、ビジネスマッチング、戦略産業の振興等の事業を担

当。イノベーション推進部が異業種交流、人材育成、大学発ベンチャー育成等の事業を担当。総務部が広報等を担当し、組織が一体となつて、九州の新事業の創出をコーディネートし、イノベーションを進めて参ります。

技術振興部

技術相談・部材等の試験

KICC(九州の大学、高専、公設試、産業支援機関等62機関で構成)の事務局として、企業の様々な技術課題に対して、産業技術総合研究所九州センター、中小企業基盤機構九州本部等の協力を得て、技術相談や企業紹介を行っています。また大学・公的試験研究機関における開放試験研究機器等のデータベースを作成・更新し、新製品や部材等の試験に活用して頂くため、情報提供を行っています。

Webビジネスマッチング

企業の抱える技術課題をWeb上で公開し、九州域内の優れた技術を持つ企業からの技術解決策を募集するとともに、企業の持つ優れた技術シーズをWeb上に公開することで、新たな技術マッチング機会を提供し、経験豊富なコーディネータが新製品や新事業の創出を支援します。まずは、ホームページにアクセスして無料会員登録を行い、有益な情報を入手してください。



マッチング支援のポスター

技術開発・事業化支援

「中小企業のものづくり基盤技術の高度化に関する法律」に基づく、経産省の補助事業を活用して、九州企業の基盤技術の開発や、デジタル技術・ビッグデータ等を活用した新製品・システムの開発を支援します。

技術開発資金

九州域内の研究開発型中堅・中小・ベンチャー企業に対して、産学連携による実用化研究体制を整えた研究会の設置運営を支援します。具体的には、九州地域の産業競争力に資する実用化・事業化・研究開発案件を支援することを目的に、機械工業振興チャレンジ調査研究(公募)を実施しております。1件120万円(税込)以内、採択5件程度。

有料の伴走型支援

成功報酬型コーディネータが多方面から企業情報を集め、事業課題を

抱える中小企業に出向き、経営層と面談して、事業計画の策定から特許取得、販路開拓等を有料で伴走しながら継続的に支援します。

戦略産業の振興

九州・沖縄地方産業競争力協議会が策定した「九州地域の成長産業戦略」に基づき、環境エネルギー産業(K・RIP)、ヘルスケア産業(HAMIQ)、半導体・エレクトロニクス産業(SIIQ)の各協議会事務局として、新規事業の創出やビジネスマッチングにより、戦略産業の振興を図ります。



経産省の補助金を活用して開発されたミニマルファブ装置(産総研九州センター内)

イノベーション 推進部

大学発ベンチャー育成支援

試作・市場調査・認証等、取得・追加研究を行い、研究成果と事業化の隙間を埋めるため、「九州・大学発ベンチャー振興会議」の会員（九州・沖縄の大学、企業、金融機関等）が、大学から提案された研究シーズに対して、支援を行います。また、企業側から技術や事業のニーズを提示し、そのニーズに応える研究シーズを大学側が提案するニーズオリエンテッド型マッチング事業も開始しています。

新たな人材との出会い

異業種の人材が自由に参加し、相互交流を通じて、オープンイノベーションに必要な新しい発想やアイデアの醸成、及び多様な人的ネットワークを形成することを目的とした

交流会を開催します。今年度は、ムスリム市場をターゲットとしたビジネス交流会を開催します。

次世代経営者・幹部の人材育成

中小企業や団体の経営幹部及びネクストリーダー層を対象として、グローバル化・デジタル化が進む中で今後の経営や新事業の構想力、オープンイノベーションのあり方や実践事例等を修得すると共に、人的ネットワークを構築するためのセミナーを開催します。

データサイエンティストの育成支援

IoTの導入による新事業の創出、生産性の向上を目的とする産学官組織の九州IoTコミュニティと連携して、データサイエンティスト育成講座を開催します。

昨年度実施のイベント

1 タイトル 「イスラエルを知るセミナー～世界のテック企業が集まるイスラエルの魅力に触れる～」

開催日 2020年11月12日(木)

内 容 駐日イスラエル大使館経済部による「イスラエル国及びイノベーションの概要」、イスラエル企業の日本における事業説明、日本企業のイスラエル企業との協業事例の紹介をしました。



2 タイトル 九州デジタルトランスフォーメーション (DX) 研究会

開催日 第1回:2020年12月2日(水)
WEBセミナー

第2回:2021年3月3日(水)・4日(木)
ワークショップ

内 容 DXの先進事例研究やワークショップ等の活動を通じて、参加者が連携して課題を抽出し、必要に応じて各社のDX導入を支援するセミナーを実施しました。



九州デジタル経営塾

2021年7月12日(月)にキックオフセミナーを実施



津田塾長 (株式会社安川電機会長)

デジタル技術や基盤を活用した事業の変革・組織の変革・発想の変革・価値の変革(顧客価値と自社の価値)に対する理解の増進、及び経営者同士のネットワーク構築を目的としています。

(一財)九州オープンイノベーション・センター、(一社)九州経済連合会、九州経済同友会、九州商工会議所連合会、九州経営者協会、(公財)九州経済調査協会の6団体が連携して、企業経営のデジタル化に取り組む経営層を対象に「九州デジタル経営塾(塾長津田純嗣氏)」を開講しました。



九州デジタル経営塾の様子

7月12日のキックオフセミナーでは、来賓として米田九州経済産業局長をお招きし、津田塾長のデジタル経営の必要性についての講話の後、九州における先進的な取り組みとして、(株)グッデイの柳瀬社長、(株)グルーヴノーツの佐々木会長から、ご講演を頂き、好評を博しました。

九州デジタル経営塾開催日程

会 場	鹿児島会場 ホテルウェルビューかごしま	宮崎会場 ホテル メリージュ	大分会場 レンブラントホテル 大分
開催日	2021年9月10日(金)・11日(土)	2021年10月8日(金)・9日(土)	2021年11月12日(金)・13日(土)
講 師	株式会社トライアルホールディングス CIO 西川晋二氏	有限会社あびや/株式会社EBILAB 代表取締役社長 小田島春樹氏 (リモートによる実施)	株式会社グッデイ 代表取締役社長 柳瀬隆志氏
内 容	第1日目 ワークショップ: 成長戦略実現のためのDX 第2日目 ワークショップ結果発表	第1日目 ワークショップ: 「顧客価値起点×デジタル」で皆さんのビジネスを再構築 第2日目 ワークショップ結果発表	第1日目 ワークショップ: 「顧客価値起点×デジタル」で皆さんのビジネスを再構築 第2日目 ワークショップ結果発表

お問い合わせ

研究開発や新規事業化の課題等は、お気軽にご相談、お問い合わせください。

九州オープンイノベーションセンター

H P <https://www.koic.or.jp>

メール info@koic.or.jp

電 話 092-411-7391



今後は、九州各地で開催を予定しており、本年度は、鹿児島県(9月)、宮崎県(10月)、大分県(11月)に開催します。来年度は佐賀県、長崎県、熊本県、北九州市での開催を予定しておりますので、お気軽にお問い合わせください。



世界体操 10/18(月)～24(日) 世界新体操 10/27(水)～31(日)



北九州市

2021世界体操・

新体操選手権

北九州大会

(寄稿：北九州市)



これまでのスポーツ
振興に係る取組み

北九州市では、これまでに、ラグビーワールドカップ2019におけるウェールズ代表のキャンプをはじめ、東京2020オリンピック・パラリンピックのキャンプ地のほか、数々の国際スポーツ大会が開催されました。

特に、ラグビーワールドカップ2019におけるウェールズ代表のキャンプでは、選手・関係者と市民との交流プログラムを数多く展開しました。代表チームの公開練習ではミクニワールドスタジアム北九州が供用開



ウェールズ代表キャンプ公開練習

始以来、初めて満員となり、観客がウェールズ国歌の斉唱で、おもてなしをしました。これらの様子が報道

機関、SNSを通じて発信され、国内外から大きな注目を集めました。

さらには、ウエールズ代表の大会最後の試合となった3位決定戦の翌朝の新聞に、ウエールズラグビー協会から本市に向けた感謝のメッセージの全面広告が掲載されたことを受け、ウエールズの新聞に、本市から返礼のメッセージの全面広告を掲載しました。このようなウエールズ代表への本市のおもてなしが「ミクスタの奇跡」として、世界で称賛され、そのレガシーとして今でも交流が続いています。

2021世界体操・新体操選手権北九州大会の開催決定

このような取組みを進めている中、今年10月に「世界体操」と「世界新体操」の開催という、本市が経験したことのない大規模な国際スポーツ大会の誘致が実現いたしました。両選手権がひとつの都市で開催されるのは史上初めてのことです。主催である国際体操連盟から、これまでの

スポーツ大会誘致の実績や本市のおもてなしの取組みが高く評価されたことは大変光栄なことです。

東京2020オリンピック競技大会でも、体操は男子団体が銀メダル、個人総合・種目別鉄棒で橋本大輝選手が金メダル、種目別あん馬で萱和磨選手が銅メダル、種目別床運動で村上茉愛選手がオリンピックにお

ける日本女子57年ぶりのメダルとなる銅メダルを獲得し、新体操は団体で8位入賞するなど、日本人選手が大活躍しました。その直後の国内初めての世界選手権ということで、全日本から注目が集まる大会となります。これほどの大規模な国際スポーツ大会が本市で開催されることは大変名誉なことです。

また、渡辺会長や東京2020オリンピックで4大会連続のオリンピック出場を決めた内村航平選手は本市ご出身であり、お二人が世界で活躍される姿は、大変誇らしく、また本市市民に勇気を与えるものです。お二人の大会への熱い想いを受け、史上初めての試みとなる、「世界体操」と「世界新体操」の同時開催と



左から、2021世界体操・新体操選手権北九州大会開催発表会見に出席した北橋健治北九州市市長、国際体操連盟の渡辺守成会長、小川洋福岡県知事(2020年11月8日)



2021世界体操・新体操選手権北九州大会組織委員会設立総会(2021年6月28日)

いう今大会を、オール北九州で盛り上げ、大成功に導きたいと決意を新たにしました。

大会成功に向けた本市の 取組みや期待する効果

全国的な状況と同様に、本市においても、人口減少や少子高齢化という問題を抱えています。さらに、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響を受け、まちのにぎわいや活力が失われている状況です。

このような中、世界体操・新体操



2021世界体操・新体操選手権北九州大会100日前イベント
(2021年7月10日)

選手権という北九州市史上最大のイベントを契機に、まちのにぎわいを創出し活力を取り戻したいと考えています。

さらに、この大会は、体操における史上最大の大会として、世界中から注目を集めることとなり、本市にとっては、まち全体のステージを上げる絶好の機会となります。これを逃さず全市を挙げて、

❶ 大会を契機とした本市のにぎわいづくり

❷ 都市のグレードアップに繋がる環境整備

❸ まちのイメージアップを図る魅力発信

などに全力で取組んでいきます。とりわけ、本市の強みである

❶ 持続可能なまちづくりに先進的に取組む「SDGs未来都市」
(図1・図2)

❷ 2050年までの脱炭素社会を目指す「ゼロカーボンシティ」(図3)
指す「日本の近代化の礎を築いた「モノづくりの街」

❸ などを世界に向けて発信していきます。



図3.クリーンなエネルギーとして注目の響灘「風力発電施設」



図1.SDGs未来都市に選定された当時の市長会見



図2.都市鉱山のリサイクル技術と、リサイクル衣料の再生糸を使用し、SDGsに配慮した本大会のメダル

このような取組みを通じて、市民のスポーツへの関心や意欲の向上、海外選手と子どもたちの交流を通じた国際感覚の育成や多様性への理解促進、テレビ放映やSNSなどを通じた全世界への発信による本市の知名度向上やシビックプライドの醸成等が図られると期待しています。

安全・安心な大会開催に向けた新型コロナウイルス感染症対策

コロナ禍での大会開催にあたっては、安全・安心を実感できるように、新型コロナウイルス感染症に万全の対策を講じる必要があります。

本大会を主催する国際体操連盟は、昨年11月、東京で行われた体操の国際大会において、選手や関係者と外部の接触を遮断する「バブル方式」を日本で初めて導入し、コロナ禍において国内初となる国際大会を成功させました。

この世界レベルの感染症対策を基準に、国際体操連盟や日本体操協会を中心に検討を進め、実効性のある

対策を講じていきます。

これらの対策に加え、市民の皆様により安心してもらえるよう、本市独自の対策会議を立ち上げ、

①市民交流イベント等における対策

②開催都市における補完的対策の

提案

などについても検討を進めていきます。

大会開催に対する本市の想い

世界トップレベルの選手が本市へ集い、世界最高峰の華麗な演技を間近に見ることができるといえない機会です。新型コロナウイルス感染症に対して万全の対策を講じ、市民の皆様をはじめ全国に勇気と感動が届くよう、開催都市として、国際体操連盟・日本体操協会・福岡県・関係者の皆さまと連携させていただきながら、市一丸となつてこの大会を盛り上げ、市民の皆さまをはじめ全国に勇気と感動をお届けしたいと思います。

Schedule

世界体操 @北九州市立総合体育館	
10/18(月)	【予選】女子
19(火)	【予選】女子/男子
20(水)	【予選】男子
21(木)	【個人総合決勝】女子
22(金)	【個人総合決勝】男子
23(土)	【種目別決勝】男子(ゆか・あん馬・つり輪)
	【種目別決勝】女子(跳馬・段違い平行棒)
24(日)	【種目別決勝】男子(跳馬・平行棒・鉄棒)
	【種目別決勝】女子(平均台・ゆか)

世界新体操 @西日本総合展示場 新館	
10/27(水)	【個人種目別決勝】
28(木)	【個人種目別決勝】
29(金)	【団体総合決勝】
30(土)	【個人総合決勝】
31(日)	【団体種目別決勝】



世界体操会場:北九州市立総合体育館



世界新体操会場:西日本総合展示場 新館